

《学校教育目標》

あいさつ 笑顔 思いやり 心をそろえて チーム兵庫



兵庫っ子

学校便り 1月号
令和7年1月15日
文責 深草 光明

◆ **明けましておめでとうございます。(1月8日始業式)**

2025年1月8日、学校内に子どもたちの元気な声が戻ってきました。西門に立っていると、子どもたちが元気に登校してきます。寒い朝となりましたが、PTA役員の方にも朝のあいさつ運動に携わっていただき、3週間ぶりに子どもたちとあいさつを交わしました。冬休みの宿題が入っているであろうバッグをいくつも抱え、友だちと楽しそうに話しながらの登校です。

始業式ではこんな内容の話子どもたちにしました…。

「今年は巳年、へびは脱皮を繰り返して成長していきます。このことから巳年は「成長」と「変革」の年と言われています。「成長」とは、心も体も今まで以上に大きくたくましくなること。

「変革」と物事を新しく、今まで以上に良いものへと変えていくことです。2025年は、皆さん一人一人が今まで以上に成長し、兵庫小学校を益々良い方向に変えていってくれることを願っています…。」

この成長と変革を日々の生活で実践する中で、兵庫小学校の「挨拶」を見直そうということも伝えました。兵庫小学校の合言葉である「あいさつ 笑顔 思いやり 心をそろえて チーム兵庫」の一番初めに出てくる「あいさつ」。この挨拶が2学期後半くらいから、何となく聞こえてこなくなったのを感じていました。年末年始、地域の方や親せきの方とお会いすることも多かったと思いますが、子供たちの挨拶はいかがだったでしょうか？挨拶の「挨」には、心を開くという意味が、また「拶」には心に近づくという意味があるそうです。挨拶とは「自分の心を開いて、相手にも心を開いてもらって、その心に近づく」という意味があります。そうやって、コミュニケーションの第一歩とするのです…。これらの事も、「挨拶」の漢字を見せながら、子供たちに説明しました。2025年、すてきな挨拶が交わされる兵庫小学校であってほしいと願っています。

◆ **感染症に注意です。**

昨年12月24日は、残念ながら2クラスが学級閉鎖となってしまう、全クラス揃っての終業式を迎えることができませんでした。私は校長職について8年になりますが、初めての事でした。終業式に参加できなかった子供たちにはとても申し訳なく思っています。2学期最後の週は、最高で62名の児童がインフルエンザに感染していました。年末年始で人との交流も増える中、新学期が心配されましたが、現在の所インフルエンザでは、5名の欠席となっており、一時期より落ち着いた感じですが、ただニュース等では、既にインフルエンザB型も、例年より早く流行しているようですので、2回目の感染の心配もあります。これから受験シーズンにも向かいます。学校はもちろんですが、御家庭でも予防にお努め下さい。前回の学校だよりでも書いていますが、状況によってはマスクの着用を奨励することもありますので、準備をしていただきますようお願いいたします。